

2019年11月23日

関係各位

会社名 ケアパートナー株式会社

## 通所介護事業におけるヒヤリハット運用管理支援システム「ヒヤリキャット」導入のお知らせ

ケアパートナー株式会社（本社：東京都品川区 代表取締役：白井孝和）は、現場で働くスタッフの "気づき" の感度を高め、より安全な運営を実現するため、株式会社ケアレンツ（本社：東京都品川区 代表取締役：井田 求）のヒヤリハット運用管理支援システム「ヒヤリキャット」を通所介護事業へ導入しましたことをご報告致します。

### 1. ヒヤリキャットとは

ヒヤリとした・ハットした「気づきの情報」を音声により入力し、自動集計・自動分析するシステムです。《ヒヤリキャット URL：<http://www.carents.co.jp/>》



### 2. 導入の目的

- (1) 日々発生する多くのヒヤリとした・ハットした「気づきの情報」を施設内で共有し、危険に対する感度を向上させることで事故を未然に防ぎます。
- (2) 施設系にはない、デイサービスに特化した事故である送迎時に関する情報収集を行い、車両事故を未然に防ぎます。

### 3. 導入効果

- (1) 気づきの増加  
ヒヤリハット報告書の作成を、手書きから音声入力へ切り替えることによる利便性から、多くの「気づきの情報」を集めることが可能となります。
- (2) 気づきを素早く共有  
集約された「気づきの情報」を、タブレット端末上でいつでもどこでも閲覧することができ、素早く共有が図れます。
- (3) 介護の質の向上  
多岐にわたる情報分析から、危険箇所・危険行動を把握することができ、また、ベテラン介護士の経験値を標準化、介護の質の向上が図れます。
- (4) 送迎時の安全向上  
危険やヒヤリを感じた場所を「安全MAP」へ入力することにより、MAPを使用した危険箇所の周知が可能になります。また本社との連携や、危険箇所への事前対応が可能になり且つ、入力＝指差し確認の確証となる効果があります。



▲「安全MAP」イメージ

○本件に関するお問い合わせ先・・・ 03-6404-6342（企画管理部 永島）

以上